

UZU

# 渦

## 妹背山婦女庭訓 魂結び

いもせやまおんなていきん

たまむす



# 大島真寿美

2019年3月10日発売

装画・原裕菜 装丁・大久保明子

並製小口折 / 368頁 定価 (本体 1850円+税)

著者の上京日 **3月4日**  
 ほか取材可能です！

江戸時代、芝居小屋が立ち並ぶ大阪・道頓堀。儒学者・穂積以貫の次男として生まれた成章は、浄瑠璃好きの父に手を引かれ、芝居小屋に通い出し、浄瑠璃の魅力に取り憑かれる。近松門左衛門の硯を父からもらい、近松半二と名乗り、物書きの道へ。弟弟子・並木正三に先を越させれ、人形遣い・吉田文三郎から何度も書き直しを命じられ、それでも書かずにいられなかった半二は、やがて数々の名作を世に送り出していく——。近松半二の生涯を辿りつつ、著者の長年のテーマ「物語はどこから生まれてくるのか」を、義太夫の如き「語り」にのせて見事に結晶させた長編小説

☆著者の大島さんは、本作のために義太夫を習い始め、その師・六代豊竹呂太夫師匠が5月公演では「金殿の段」にご出演されます。

取材・インタビューなど、是非ご検討ください

送本・取材等のお問い合わせ：文藝春秋 プロモーション部

Tel. 03-3288-6142 E-mail : pr@bunshun.co.jp

虚実の渦を  
 作り出した  
 もう一人の  
 近松がいた

五月東京国立劇場にて  
 十五年ぶりの通し狂言  
 「妹背山婦女庭訓」決定！

浄瑠璃作者・近松半二の  
 生涯を描いた比類なき名作！